

2014年(平成26年)11月1日(土曜日)

「工業技術大賞」決まる 相模原市内2社が選出

県内の中堅・中小企業が開発した優れた技術・製品を称える「第31回神奈川県工業技術開発大賞」が決定。今年度は、29件の応募から大賞2件とビジネス賞2件、奨励賞3件を選出した。

(芹澤 康成)



「水晶振動子用周波数調査装置」

相模原市内の企業からは昭和真空(相模原市中央区田名)がビジネス賞、ブルー・スターR&D(同区横山台)が奨励賞に入賞。4日、横浜メディア・ビジネスセンター(横浜市中区)で開催される表彰式において、表彰状と副賞が授与される。

昭和真空が開発した「水晶振動子用周波数調整装置」は、水晶振動子の製造過程で共振周波数の値をほぼ正確に調整・加工する装置。より小型かつ高精度の水晶振動子を高い生産性で調整・加工できるようにした。

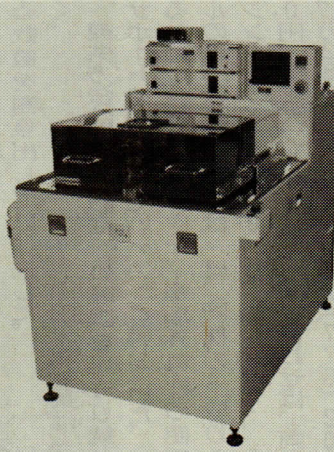
同装置は、共振周波数の値を連続で測定しながら、イオンビームを照射。表面に薄く付着させた金属を少しずつ削り取りながら調整する。一度

に24〜32個を加工することができ、周波数の調整精度は、任意の数値に対して100万分の1の精度を達成。2ミリの角以下の小さな水晶振動子でも高精度な調整が可能となった。

ブルー・スターR&Dの「超音波バリ取り洗浄装置」は、さまざまな材料の微小なバリ取りを一度に多く処理できる装

置。作業時間が大幅に短縮され、人件費などの大幅な削減に期待できるといふ。

同装置は、従来の装置を元に超音波の周波数や水の状態を最適化することで、バリ取りに適した微細な泡を安定的に発生させる。さまざまな材質や形状の製品に合わせて、最適な条件に設定できる。



「超音波バリ取り洗浄装置」